

# 学生主体の標準化教育

中部大学ESDエコマネージャーチーム

# 目次

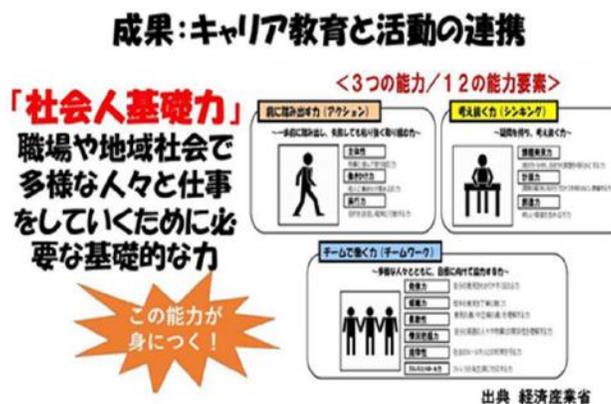
1. 中部大学ESDエコマネージャーチーム
- 1-1. 取り組みの位置付けと達成目標
2. 標準化教育（①使う ②作る）
- 2-1. 専門家連携
3. 標準化教育（③教える）
4. 地方自治体連携
5. 成果
6. 参考資料 1.2

# 1. 中部大学ESDエコマネーチーム

**目的：** 持続可能な開発を担う人材になること

**活動：** SDGsとSociety5.0（スマート技術）、国際標準を学ぶ標準化教材（ゲーム）開発と実演地元企業支援、青少年育成

**地域連携：** 企業や一般の人向けに実演を行う



将来人工知能やロボットに職を奪われない為に  
2020年に必要となるスキル

- ・複雑な問題解決
- ・批判的（論理的）思考
- ・創造性
- ・人、チーム、組織の管理
- ・協調性、適応性、協力
- ・感情知性（粘り強さや協調性などの心の働きに関する能力）
- ・交渉力
- ・認知の柔軟性（複雑な問題解決、表現）
- ・サービス指向（対人）
- ・判断と意思決定能力

→ **この能力を身につけます**

中部大学ESDエコマネーチーム  
国際標準化+SDGs  
「標準を使う・作る・教える」を通じた  
環境人材育成+標準化人材育成

専門ゼミ生が執行部 学部内外からの学生60名で構成  
ゼミ生の役割→チームの執行部としてチーム活動すべてを運営するとともに、ピアサポートを担当する

## 活動を通じて身につく社会人基礎力 例

① 前にも踏み出す力（主体性、働きかけ力、実行力）

② 考え抜く力（課題発見力、計画力、創造力）

③ チームで働く力（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力）

# 1-1. 取り組みの位置付けと達成目標

**達成目標（育成したい人物像）「持続可能な社会を担う人材」**  
 → 「標準を使う・作る・教える」を通じた標準化+環境人材育成

国際	標準化人材 環境人材	産学官民連携（国際） 国際機関や主要国での教材採用	
国内	標準化人材 環境人材	産学官民連携（国内） 専門家との連携（標準化、） エコプロダクツでの標準化教育 環境ISO実践校との連携 学会発表 産業界・自治体等向け標準化教育	
地域	標準化人材 ESDリーダー	標準化教室 青少年育成	
大学	不言実行 あてになる人間	<b>地（知）の拠点 地域志向教育研究活動（文部科学省）</b> 学生主体の標準化教育を通じた春日井及び周辺地域の活性化 <b>大学への消費者市民社会普及啓発事業（名古屋市）</b> 消費者向け標準化教育、高大連携	
学部	ビジネスリーダー	企業経営モデル	標準化教育、環境経営 ピアサポーター
授業	ESDリーダー 標準化+環境人材	<b>標準化の専門知識学習+実践</b> 環境経営、特別講義、環境マネジメント、ゼミ（基礎、入門、専門、卒業研究、大学院）	

# 標準/標準化の定義

- **標準** JIS Z 8002 標準化及び関連活動 一般的な用語

a) 関連する人々の間で利益又は利便が公正に得られるように、統一し又は単純化する目的で、もの（生産活動の産出物）及びもの以外（組織責任権限、システム、方法など）について定めた取り決め。

b) 測定に普遍性を与えるために定めた基本として用いる量の大きさを表す方法又はもの（SI単位、キログラム原器、ゲージ、見本など）

**個々の製品や事柄に対しての“決めごと（ルール）”**

・ **標準化** JIS Z 8002 標準化及び関連活動 一般的な用語

実存の問題又は起こる可能性のある問題に関して、与えられた状況において最適な秩序を得ることを目的として、**共通的に、かつ、繰り返して使用するための記述事項を確立する活動。**

注記1 この活動は、特に**規格を作成し、発行し、実施する過程**からなる。

注記2 標準化がもたらす重要な利益は、製品、プロセス及びサービスが意図された目的に適するように改善されること、貿易上の障害が取り払われること、及び技術協力が促進されることである。

**一定のルール（標準）に従って、みんなが共通して  
利用できたり便利になるようにすること**

# 標準化教育①使う

- 経営情報学部
- 経営者として自社のEMS構築

将来の職業選択に基づき産業界を  
選択

ISO14001の講義と実践



## 講義

オリエンテーション

環境マネジメントシステムとは 組織  
の状況

リーダーシップ

リーダーシップ：環境方針

計画：著しい環境側面、脅威および機  
会に関するリスクへの取り組み

順守義務

環境目的及びそれを達成するための計  
画策定

支援（資源、力量、自覚）

利害関係者のニーズ、コミュニケー  
ション

運用の計画及び管理、緊急事態への準  
備及び対応

パフォーマンス評価

内部監査の仕組み

改善

## 実践

産業の選択

産業界の動向、モデル企業選定 組織  
図の作成

初期環境調査

環境方針

環境影響評価表

順守義務 環境基本法

順守義務 環境関連法

目的目標実施計画

力量・教育訓練及び自覚 記録

コミュニケーション方法

緊急事態対応設定

実践：監視、測定、分析、評価、順守  
評価、不適合及び是正措置

内部監査計画の策定

内部監査実践、所見書作成

マネジメントレビューと継続的改善実  
施

# 標準化教育②作る

## 講義

経営情報学部 2年以上  
標準化(環境、品質、安全)  
標準化の講義+グループ学習 (新規標準提案)



オリエンテーション

標準の基礎(標準化総論)

国の標準化

国際標準化

企業組織における標準化

環境保全と標準化

様々なマネジメントシステム規格及び認証(適合性評価)

マネジメントシステムに関する社内標準化(品質マネジメントシステムの場合)

事例:企業経営と標準化—製造業における標準化

事例:企業経営と標準化—サービス業における標準化

社会の安全を守る標準化—企業の社会的責任

社会の安全を守る標準化—消費者と標準化

事例:社会の安全を守る標準化—消費者保護と標準化

受講生による発表と討論

# 標準化教育の手法

- ・ テーマ設定：3年生がプレゼンして決定
- ・ 規格を学習し、教材を開発する
- ・ 要求事項を要約し、関連する規格を学び、クイズを作成する
- ・ 内容をテストプレイと市場テストで確認
- ・ 実演のためのファシリテーター育成実施



# SDGs と超スマート社会 (国際標準化)

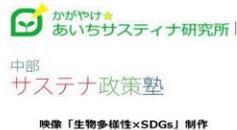
伊藤 佳世 ゼミナール

持続可能な開発を担い、地域・社会で選ばれる人の育成

実社会で必要となる「実践力」、「応用力」、「人間力」に注目

3つの実践で標準に関するスキルと人生100年時代に必要な社会人基礎力を身につけます

標準を  
使う  
担当者レベルのスキル



中日新聞  
日本経済新聞

標準を  
作る  
世界レベルの標準化教材



標準を  
教える  
連携：企業、自治体、学校



伊藤佳世研究室



中部大学 ESD エコマネーチーム FB



中部大学 ESD エコマネーチーム Twitter

SDGs+スマート社会

SDGs+超スマート社会 Smart Society



中部大学ESDエコマネーチーム  
Chubu University ESD Eco money team

エネルギー+スマート  
ISO 5001



社会的責任  
ISO 26000



環境マネジメント  
ISO 14001

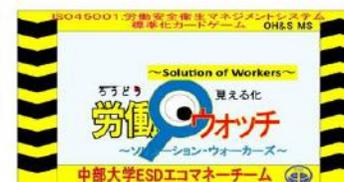


中部大学ESDエコマネーチームFB

リスク+SDGS  
ISO 31000



労働安全衛生  
ISO 45001



品質マネジメント  
ISO 9001



図記号+環境ラベル



伊藤佳世研究室 Kayo Ito Lab

事業継続+SDGs  
ISO 22301



食品安全+SDGs  
ISO 22000



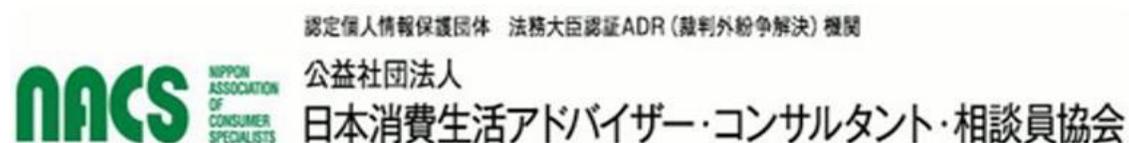
持続可能な調達  
ISO 20400



消費者



# 2-1. 専門家連携





# 経済産業省 JISC

国際標準化、標準化教育を所轄している。

2013年からチームが開発したすべての教材を対象にコメントをいただいている。

2時間から3時間の検討会で産業向けの教材と消費者教材をプレゼン方式で説明し、教材実演を行う。SDGs関連の標準化戦略や標準化動向を踏まえ、教材の内容や関連する技術等についての見解を反映している。



EMS

2012



2013



全教材 リスク+SDGs

2019

業の復旧力、対応力を構築するためのマネ:

対処をすることで事業継続に必要な行動  
関係者との連携強化・信頼性の向上が期



2020

## 日本規格協会

標準化機関、標準化の普及と啓発を行っている。

2011年から毎年標準化教育で連携を行い、すべての教材に対してコメントをいただき反映している。毎年9月に国内委員会の事務局、標準化教育担当、広報担当を対象に2時間から3時間の検討会で産業向けの教材と消費者教材のプレゼンと教材を実演を行う。

規格の専門用語の理解、国際規格との整合性を確認していただき、最新の国際標準化の動向、こども向けや産業界向けの標準化教育の方法について意見を交換し、教材に反映してる。2010年に中部大学で冠講座「環境マネジメントシステム」が開講され、現在も本講座は続いている。



2012



2013



2014



2015



2016



2017



2018



2019



2020

NACS、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会消費者志向経営を推進し、消費者の視点から標準化を担っている。  
 2017年から毎年標準化教育で連携を行い、すべての教材に対してコメントをいただき反映している。毎年標準化担当に2時間から3時間の検討会で消費者教材をプレゼン方式で説明し、教材を実演する。消費者の立場に立った上で専門家からの意見を反映する。NACS中部とも連携し、2018年以降、年に1回標準化セミナーを中部大学の学生を対象に開催し、消費者と標準化について検討している。



## 中央労働災害防止協会

労働災害衛生の専門機関として安全衛生情報の提供等を通じた企業の支援を行っている。

2017年9月に労働安全衛生の教材「労働ウォッチ」で連携をした。労働安全衛生の専門家として、教材の妥当性や関連する専門用語、事象の理解の点でコメントをいただき反映した。12月に中部大学ESDセンターと共同で労働安全衛生に焦点をあてた産業界向けのイベント「働きやすい職場」を開催し、エキスパートとしてISO45001の講演を依頼した。

2020年の BCM+感染症の教材「会社を守ろうwithコロナ」でも再度連携を行い、感染症に関する労働安全衛生やニューノーマルにあわせた働き方についてコメントをいただき反映した。



# 標準化教育③教える

- ・ 持続可能な社会の推進

- ・ 学生主体の標準化教室

標準を使う・作るの学習

学習結果を用いて標準化教材開発

標準を教える

環境イベントでの標準化教室

産学官民連携



中部大学ESDエコマ  
ネーチーム

# エコライフ・フェア2020

エコライフ・フェアは、毎年6月の環境月間に全国各地で展開される様々な環境行事の1つとして、環境省、地方公共団体、関連団体、企業、NGO・NPO等が連携し、環境保全全般にわたる普及啓発活動として開催しているイベントである。

## 会社を守ろうwithコロナ Protect Your Company with COVID-19

自然災害や気候変動リスクだけでなく新型コロナウイルスなどに対応した教材「会社を守ろうwithコロナ」をエコライフ・フェア2020にて出展をした。



# 4. 地方自治体連携

名古屋市

City of Nagoya



地方創生SDGs  
官民連携  
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。





中部大学ESDエコマネーチームは2020年より、国内の様々な自治体連携をしていくために地方創生SDGs官民連携プラットフォームの会員となり活動している。

- ・エコライフフェア、消費者フェアの発信
- ・会員団体のイベント参加

### 今後の展望

- ・積極的な地方自治体連携
- ・分科会の設置

## 水俣市



中部大学ESDエコマネーチームは、汚染予防の重大さを示す、持続可能な人材を育成することをチームの最大の目的として、水俣の教訓の継承や環境・社会・経済のサステナビリティ(持続可能性)の重要性を認識しながら、環境研究を進めるとともに、学生主体の活動を通じて環境・社会・経済に関する物事をみる力を養っている。



2009年、2010はみなまた環境大学に参加し連携を行った。2013年～2018年は水俣現地調査を行い、水俣市に教材を渡し普及啓発を行った。

2018年は水俣市ISO委員会において全部署の職員を対象にSDGsと超スマート社会の標準化教材「[世界を救え](#)」を用いた研修を行った。それぞれの部署の職員が少し先の未来を想定し、担当職員としてSDGsやスマート技術を用いて現状を踏まえながら将来実践したい内容を提案した。それぞれの部署から出てきた意見を基に水俣市のSDGs戦略立案に反映をした。実際の政策立案において標準化教材を活用するという成果を挙げる事ができた。



## 愛知県

2009年よりESD推進の観点から連携をしている。2009年国際生物多様性の日記念イベント、2014年あいち・なごやESD交流フェスタ、2015年 Lets エコアクションin AICHIに出展した。当該年度に開発した教材を用いた標準化教室を行った。

2016年から2019年はブース出展に加え、愛知県と共同で企画運営を担当し、他の出展団体と共同でSDGsを広く県民に発信している。

また2015年以降、愛知県の主催する[かがやけあいちサステイナ研究所](#)の研究者として学生が以下の企業のSDGsプロジェクト支援を行っている。三井住友銀行、ユニー、名鉄観光、ミツカン、IKEA 新日鐵、トヨタ車体、メニコン、吉本興業、日本ガイシ。



2009



2011



2014



2015



2016



2017



2018



2019



## 春日井市

2013年よりESD推進の観点から連携をしている。2016年以降から5月に開催される春日井わいわいカーニバルへの出展をはじめた。

こども向けイベントでは、愛知県青少年育成アドバイザーと共同で2016年度より出展し、情報リテラシー教育を推進するためスマホの適正利用の紙芝居を実演している。10月の春日井まつりエコワールドには2013年より出展しており、春日井市民を対象に開発した標準化教材を用いた標準化教室を開催している。11月の春日井ビジネスフォーラムには2016年より出展しており、地元の高校や企業に対して標準化教室を開催し、標準化や、SDGs活動、消費者が安心できる方法を検討する機会としている。また、教材のフィールド調査も兼ねているため教材の改善点など得ることができた。



2013



2017



2018



2019

## 日進市

2015年よりESD推進の観点から連携をしている。2015年は環境フェスティバルに出展し標準化教室を行うとともに日進市と共同でイベント運営を担当した。地域の子供たちが多く参加するため、景品を用意するなど工夫し楽しんでもらうことができた。

2016年より環境+まちづくりを目的としたにっしんわいわいフェスティバルにブース出展するとともに日進市内に立地する大学と連携した企画を通じて若者の視点でESDを推進している。



2015



2017



2018



2019

## 名古屋市環境

2011年よりESD推進の観点から連携をしている。環境デーなごやや中央行事に毎年出展し、当該年度に開発した教材を用いた標準化教室を開催している。

2011年はなごやユニバーサル・エコ・ユニット活動の推進を行い、名古屋の大学と環境プログラムを通じた人的交流や大学祭における環境配慮活動の展示を行った。

2019年はCOP10の10周年記念企画として生物多様性×SDGs啓発動画を開発した



2012



2013



2014



2015



2016



2017



2018



2019



2020

## 名古屋市 環境

2011年よりESD推進の観点から連携をしている。環境デーなごやや中央行事に毎年出展し、当該年度に開発した教材を用いた標準化教室を開催している。

2011年はなごやユニバーサル・エコ・ユニット活動の推進を行い、名古屋の大学と環境プログラムを通じた人的交流や大学祭における環境配慮活動の展示を行った。

2019年はCOP10の10周年記念企画として生物多様性×SDGs啓発動画を開発した。



2012



2013



2014



2015



2016



2017



2018



2019



2020

## 名古屋市 消費者

2017年よりESD推進の観点から連携をしている。持続可能な開発を実現するためには大量生産・大量消費・大量廃棄から持続可能な生産・消費へのライフスタイルへの移行が重要な課題である。そのため、名古屋市の消費者に向けた連携では持続可能な消費、中でも購買に焦点をあて、教材を開発し、名古屋市消費生活フェア等のイベント出展を通じて教材を実演することで名古屋及び周辺地域の市民の持続可能な消費に関する意識や行動の変化を促す提案をすることを目的としている。名古屋市消費者フェアでは、多くの来場者に教材の実演ができ、エシカル消費の普及啓発に貢献できた。



2017



2018



2019



2020

# 5.成果 身についた力量

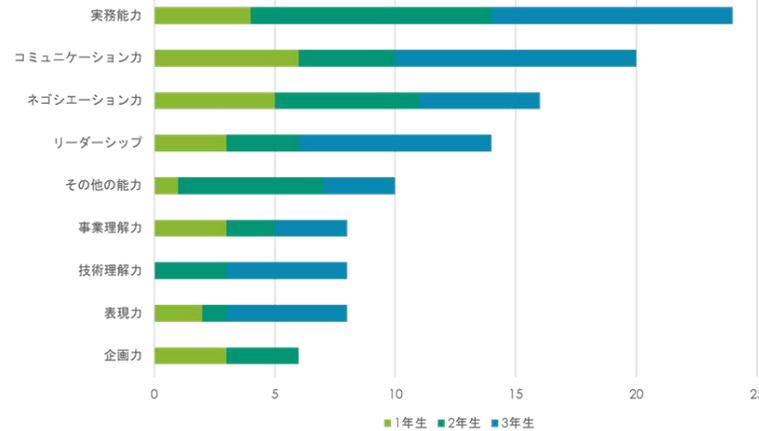
## 業務評価指標

責任性  
経験内容  
成果内容  
社内外貢献  
事業理解力

## 業務能力評価指標

コミュニケーション力  
ネゴシエーション力  
企画力  
リーダーシップ  
表現力  
技術理解力  
実務能力  
その他の能力

主体性	✓	✓		✓	✓	✓				
働きかけ力			✓	✓	✓	✓				✓
実行力	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
課題発見力		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
計画力	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
創造性				✓	✓		✓	✓	✓	✓
発信力			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
傾聴力			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
柔軟性			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
状況把握力			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
規律性	✓									✓
ストレスコントロール力	✓									✓



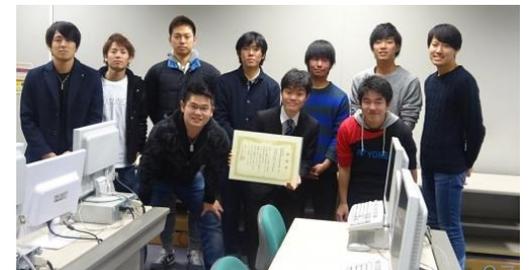
1年：コミュニケーション力  
2年：実務能力  
3年：コミュニケーション力、実務能力  
リーダーシップ、技術理解力、表現力

- マネジメント**：チームで統合マネジメントシステムの開発運営を行った。
- 環境・防災**：教材開発を通じて、環境・防災についての知識を深めることができた。
- 健康・医療**：教材開発を通じて、健康的な職場・メンタルヘルスについての知識を深めることができた。
- 人材育成**：実演可能な標準化人材の育成を行い、実演を行い産学官民に人材育成を行った。

## 標準化スキル＋社会人基礎力



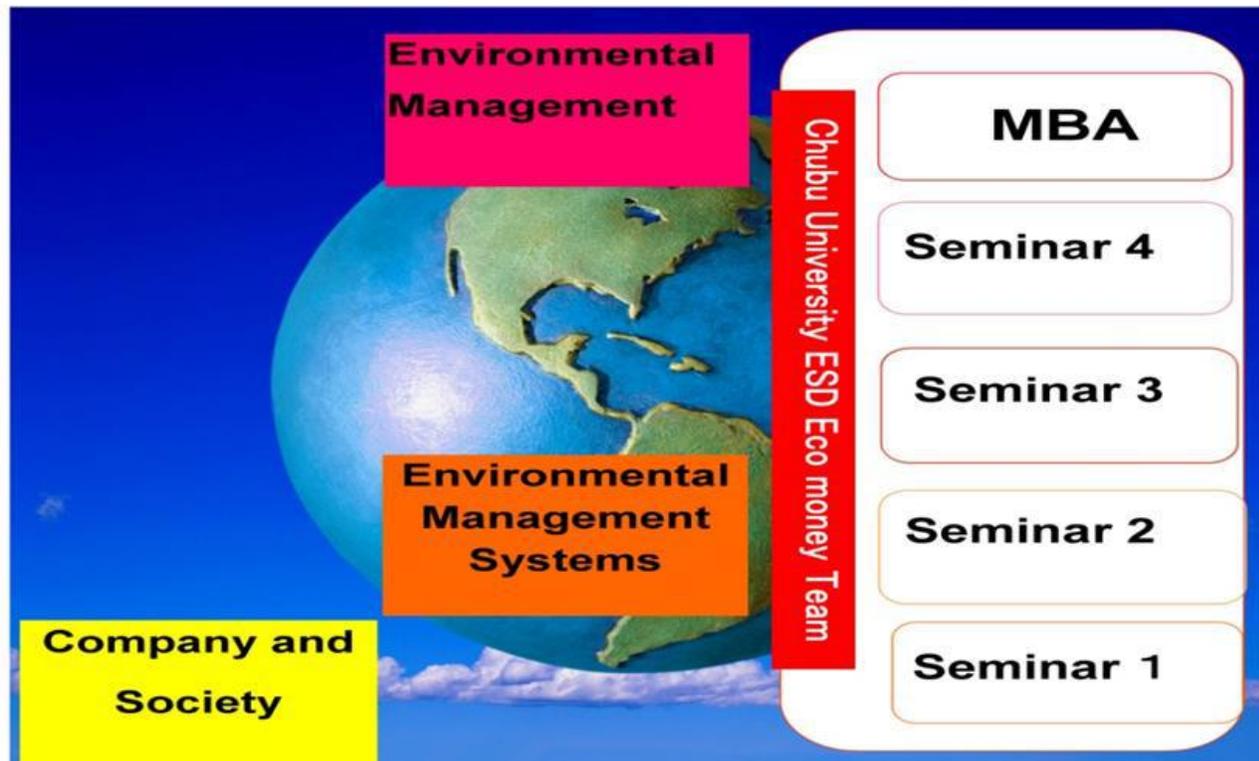
学長賞



社会人基礎力グランプリ奨励賞

# 参考資料 1 標準化教材

# 学生主体の標準化教育



- 標準のユーザーから開発者、教える立場に
- 学生主体
- 環境マネジメント及び関連分野

# チーム活動

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
学術			日本工学教育協会								
			画像電子学会					経済地理学会			
		こども霞が関デー (経産省)	環境経営講座	香港大学	COC 知の拠点			ビジネスにおける SDGSとルール形成			
					地元企業向け標準化教室春日井市内企業と中部大生の融合～ISOで繋がる地域連携プロジェクト～	働きやすい職場」労働安全衛生マネジメントシステム	超スマート社会の実現に向けた標準化と地域における実践				
			愛知商業高校			春日丘高校		愛知商業 春日丘中学 春日丘高校 市邨高校	愛知商業高校、春日丘中学 市邨高校 名古屋国際高校	春日丘中学、市邨高校、	
連携					JSA						
		JISC		ISO/TMB/SR/JP	ISO/TC176/JP	ISO/PC283/JP 中央労働災害防止協会	ISO/TC301/JP ISO/TC268/SC1/JP NACS	NACS	JISC 東海農政局 NITE	経済産業省 日本規格協会 NACS 中央労働災防止協会	
	コンサルタント	MS 勉強会			自動車部品工業会		商工会議所		愛知県 商工会議所	愛知県 名古屋市	
				愛知県 名古屋市 日進市 水俣市							
				環境ISO学生大会							
実演			エコプロ								エコプロ (オンライン展示)
			環境デーなごや								
			春日井まつり				春日井ビジネスフォーラム				エコライフフェア
	COP10	あいち ESD フェスタ			エコアクションあいち						消費者生活フェア
	JISC	JISC	UNECE	UNWDCRR	JICA						
#	662	1646	1840	1705	2654	6715	5658	8486	14508		

# 標準って何 (2011)

## 標準って何

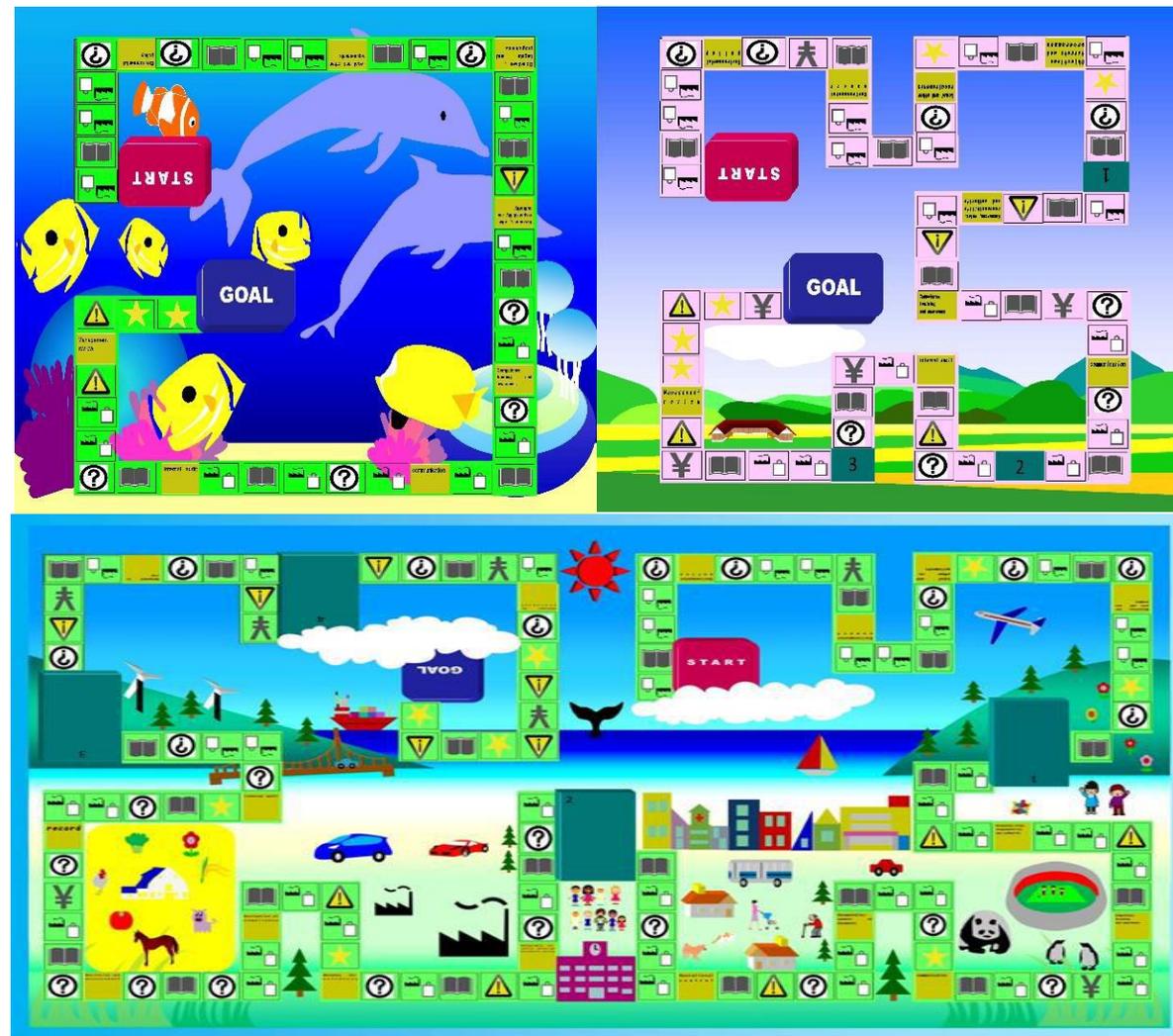
環境と安全の分野における図記号とラベルに焦点をあてた教材である。UNO 形式で図記号を理解するカードゲームと図記号のついた製品を実際に手に取りながら図記号の意味を学ぶことができる。



# もし社長だったら(2012, 2015)

## もしも社長だったら

環境経営に必要なマネジメントシステム、関連規格についての知識も幅広く組み込まれた、人生ゲーム形式の教材である。

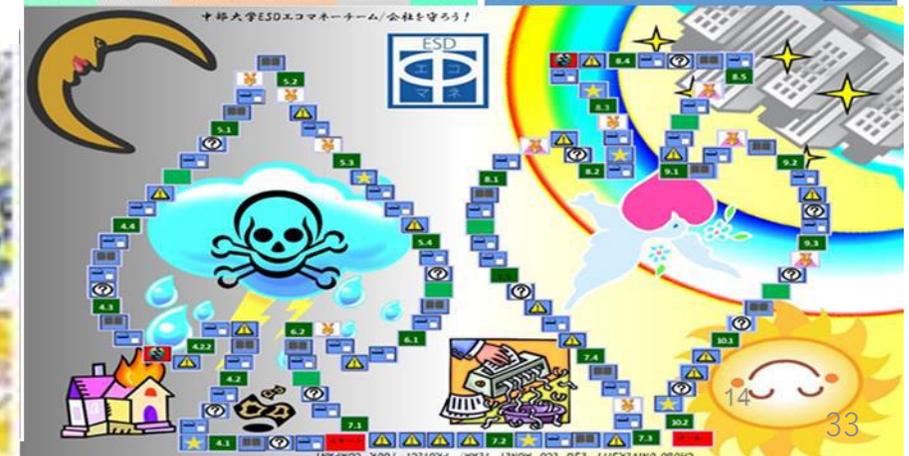
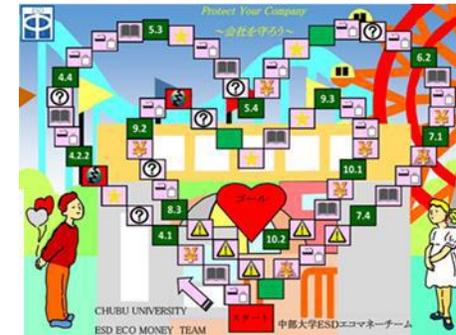
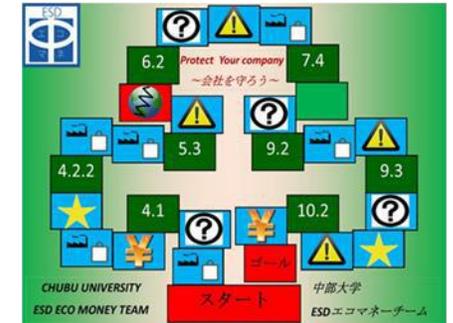


# 会社を守ろう(2013)

## 会社を守ろう

すごろく形式の教材である。地震が、火災が、テロが、情報漏洩が起きた場合な様々なリスクについて知り、会社の守り方を検討することができる。

# RISK



# せきにん(2014)

## せきにん

すごろく形式の教材である。ゲームを楽しみながら、経営者としてどのように自分の会社が責任を持って社会関心の高い課題(環境、人権、労働、コミュニティ、組織、消費者)に応えながら事業活動を行うかを学ぶことができる。



# ものプロ(2015)

ものプロ～Manufacturing of High Quality～  
すごろく形式の標準化教材である。品質マネジメントシステムを学ぶことができる。  
Plan,Do,Check,ActionというPDCAサイクルをゲームを通して体験する。製品・サービスの品質を維持するために経営者として定めるべきことや優先すべきことを考えることができ、より良い企業活動を促すことができる。品質管理というあまり身近ではない問題に対して知るきっかけとなる。



# 労働ウォッチ(2016)

## 労働ウォッチ

カードゲーム形式でマネジメントシステムの要である要求事項を学びながら様々な労働災害についての対策を考えることができ、より良い企業活動を促すとともに、労働安全衛生について考えるきっかけとなる。



# エネマス君、エネルギータワー(2017)

## エコマスくん～Energy expert～

ボードゲーム型の教材である。教材内で行政の長として地域のエネルギーを管理して町を運営することでスマート技術について学ぶことができる」。



## エネルギータワー Energer Tower ～企業を支えるのはあなた～

ブロックを使ったバランスゲーム型の教材で、エネルギー管理について学ぶことができる。



# 私たちの未来(2017)

## Our future ~私たちの未来~

人の一生をもとにしたボードゲーム型の教材である。計画的に消費をする大切さや、消費者に関する標準を学ぶことができる。



# 世界を救え、世界を変えるには (2018)

## 世界を救え Save the World

SDGsや超スマート社会について学ぶことができるクイズ形式の教材である。個人学習、グループ学習が可能である。

## SDGs+超スマート社会 Smart Society



中部大学ESDエコマネーチーム

Chubu University ESD Eco money team

## 世界を変えるには～You can change the world～

持続可能な調達 (ISO20400) やエシカル消費について学ぶことができる教材である。



ISO20400 持続可能な調達  
Sustainable Procurement

中部大学ESDエコマネーチーム  
Chubu University ESD Eco money team

# まもる君(2019)

## まもるくん ~Risk guard~

現在、気候変動問題を中心に様々なリスクが溢れている。そのようなリスクの予防方法がこの教材を通して学ぶことができる。危機的状況に陥ってしまう前に、リスク教材まもるくんを通して予防できるようになることを目的としている。

まもるくん~risk guard~

ISO ISO31000 リスクマネジメントシステム  
Risk Management systems

災害 Disaster	事故 Incident	健康 Health	製品 Product	情報 Information	環境 Environment
4 QUALITY EDUCATION 	8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH 	3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING 	12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION 	9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE 	13 CLIMATE ACTION 
使用法 USAGE					
ディスカッション Discussion	学校での学習 School	企業の研修 Company	リスクの発見 Find Risks		

中部大学ESDエコマネーチーム  
Chubu University ESD Eco money team

# 食プロ(2019)

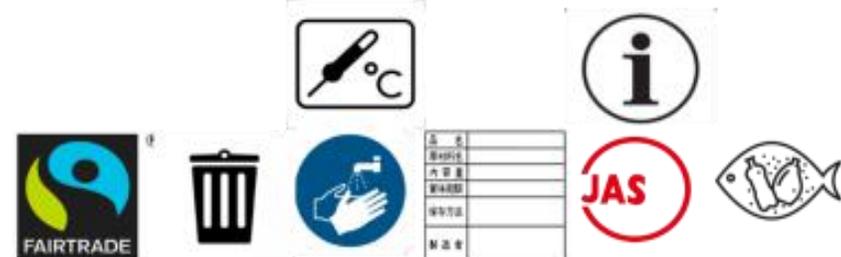
## ②食品安全衛生 (HACCP)

食プロ ~Food professional~

2020年6月に食品安全管理手法HACCPが義務化されるなど食品安全は最も重要視するべき問題になりつつある。この教材ではそのような問題を解決するべく、実際の企業事例を元に食品問題への対応や衛生管理方法を学べ学ぶことができるようになっている。

食プロ~Food Professional~

ISO22000 食品安全マネジメントシステム  
Food Safety Management systems



貧困	飢餓	健康	教育	製品	資源
Poverty	Hunger	Health	Education	Product	Resource
1 NO POVERTY	2 ZERO HUNGER	3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING	4 QUALITY EDUCATION	12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION	14 LIFE BELOW WATER
					



中部大学ESDIマネーチーム  
ChubuUniversity ESD Eco money team

# 会社を守ろうwith コロナ2020

気候変動や地球温暖化などが注目。そこに加えて新型コロナウイルス(COVID-19)が流行。  
企業を継続するために、あらゆる対応が求められる時代へ。



事業継続マネジメントの規格(ISO22301)に着目し、企業や消費者に気候変動、災害、感染症などのリスクに対してどのように取り組めばよいか考えてもらう必要がある。



感染症



自然災害



気候変動

会社を守ろうwithコロナ  
Protect your company  
BCM and COVID-19

ISO22301

感染症対策  
防災  
気候変動  
自然災害  
スマート技術 + SDGs

1 PEOPLE 2 WELL-BEING 3 GOOD HEALTH 4 QUALITY EDUCATION 5 GENDER EQUALITY 6 CLEAN WATER AND SANITATION 7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY 8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH 9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE 10 REDUCED INEQUALITIES 11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES 12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION 13 CLIMATE ACTION 14 LIFE BELOW WATER 15 LIFE ON LAND 16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS 17 PARTNERSHIPS FOR DEVELOPMENT

# 参考資料 2 連携

産業界 教育機関 国際

# 市場テスト [2013.2014] 全国環境ISO学生大会 (学部)

8月

参加者:学生(120名)



## 成果

環境マネジメントシステムに関心のある12大学が参加  
各大学の活動報告と標準化の学習

# ビジネスにおける持続可能な開発目標（SDGs）とルール形成

日時：2018年8月4日  
場所：中部大学

企業行動憲章とSDGS

日時：2018年8月24日  
場所：中部大学

スマート社会の実現に向けた  
標準化とSDGs



日時：2018年10月24日  
場所 中部大学

持続可能な調達に関する国際規格



イベントの企画運営

教材に対する専門家からのコメント反映

専門家コメント  
市川芳明氏



専門家コメント  
富田秀実氏



# 「中小企業のためのSDGs入門ワークショップ ～SDGsビジネスゲーム体験～」

2019年8月6日

ウインクあいち 1106号室



エコステージ協会と連携

SDGsゲーム「世界を救え」を用い、  
ワークショップ形式でセミナー実施



# グリーンネットワーク

2019年9月6日



東海3県5市

SDGsゲーム「世界を救え」を用いた  
標準化教室





UNECE

## 国連欧州経済委員会 ISO IEC

2013年より標準化教育の分野で連携しています。

ジュネーブで開催された国際会議で各国代表が[もし社長だったらIf you were President](#)を用いた標準化教室を体験した。当該教材はUNECEの事務局に展示されている。中部大学ESDエコマネーチームが開発した教材で英訳したものはすべてお渡ししている。



### Delegates go back to school, and have a good time too!

Participants in the recent session of the UNECE Working Party on Regulatory Cooperation and Standardization Policies had a fun break, playing two board games on "Environmental Standards".

These entertaining games teach players – who can be as young as 5 years old – about how everyday behaviour and choices can make a difference to the environment. They also teach them what the different labels you find on products actually mean. The games can be adapted to people of any age and any level of "standards awareness". They were created by the students of Chubu University, Japan, and were presented as a gift to the UNECE secretariat.

Delegations at the meeting, including Minister for Technical Regulations of the Eurasian Economic Community, H.E. Mr. V. Koreshkov, and IEC Secretary-General, Mr. F. Vreeswijk, unanimously adopted UNECE Recommendation "I" on "Education on standards-related issues". The new Recommendation urges national authorities to promote educational activities in this increasingly important domain. □



## ISO IEC



2011年より標準化教育の分野で連携しています。中部大学ESDエコマネージャーが開発した教材で英訳したものは中央事務局と当該規格を担当する専門委員会の議長と国際幹事にお渡ししている。



中華人民共和国  
駐名古屋総領事館

## 中国領事館（名古屋）

2013年に中部大学で開催した環境マネジメントシステムの標準化教室に中国領事館より領事にご参加いただいた。



## 香港大学大学院博士課程特別講義



2013年9月7-8日に香港大学で博士後期課程の学生（社会人）を対象とした特別講義でISO14001の教材として中部大学ESDエコマネーチームが開発したIf you were Presidentを活用した。

## JICA Japan Technology Education



2015年と2016年に中部大学でJICA研修生を対象のJapan Technology Educationで教材を用いた標準化教室を開催した。

## UNESCO ESD workshop



名古屋市で2014年11月10日から13日まで開催されたESDユネスコ世界会議の参加者対象に、中部大学UNESCOESD Workshopを開催した。各国の参加者を対象に標準化教室を行った。

## Griffith Universityの特別講義



2017年と2018年の12月に中部大学で開催したオーストラリアのグリフィス大学工学部の特別講義で標準化教室を行った。